

上尾市水道事業では、大規模地震や風水害への備えとして、災害対応に特化した「実動班」を令和2年3月に編成いたしました。

「実動班」では、大規模災害を想定した各種の講習会や訓練を重ねることで、迅速な災害対応ができる職員を育成しています。

また、令和6年度より、緊急時における現場対応力の底上げを図るため、「実動班」の訓練対象を水道事業全職員とし、新任実動班員に向けた講習会を実施することで、より多くの職員が対応できる体制づくりを行っております。

今回の活動報告では、令和6年8月、9月に行った訓練内容、さらに、Vol.2で報告しきれなかった管洗浄（座学）指揮能力養成課程について報告いたします。

新任実動班員を対象とした管洗浄（座学）基礎編の実施

令和6年8月1日（木）、9月5日（木）、**新任実動班員を対象とした管洗浄（座学）訓練**を実施しました。市内某所で漏水が発生したという問題について、断水の手順と、漏水修繕後の復旧手順をディスカッションし、内容を発表しました。

【グループディスカッション状況】

各班には経験者である実動班員が配置されており、新任実動班員からの質問に答え、発表内容をまとめるサポートを行います。



【各班発表】



【講師による説明】



令和6年8月8日（木）、22日（木）、9月19日（木）に実働班員を対象とした**管洗浄（座学）ステージ2**を実施いたしました。

市内で漏水事故が発生したという想定の下、漏水修繕のための「断水」の手順、及び漏水によって生じた水の濁りをとる「管洗浄」の方法について、実働班員が2名1班となり、各班ごとにグループディスカッションを実施して発表しました。

問題は毎回異なる職員が作成し、問題作成を通して管洗浄方法への理解を深めています。

【グループディスカッション状況】

漏水発生時に迅速な判断が必要とされることを想定し、あらかじめ設定された時間内でディスカッションを行います。



【各班検討中！】

問題と現場の図面から“事実”を正しく読み取り、その“事実”を基に水の濁りの状況を“想定”することで、最適な管洗浄作業手順を検討しています。

【各班発表】

“事実”をきちんと把握し、正しい“想定”をすることが、適切な対応へつながります



令和6年6月27日（木）、7月29日（月）、9月30日（月）に、**総合指揮監督を目標とする実動班員を対象とした管洗浄（座学）**を実施いたしました。

今年度より実施されているこの講習は、災害時に総合指揮監督をとれる人材の育成を目的としており、これまでの管洗浄（座学）と比べより高度な内容となっています。

【検討状況】

災害時において指揮を執る状況を想定し、班ではなく個人で対応方法を検討していきます。問題の難易度は従来の管洗浄（座学）と比べあがっていますが、制限時間は変わっていないため、素早い判断力が求められます。



【各自発表】

他の検討内容を聞くことで、自分では考えつかなかった点に気づくなど、発表することを通じて各実動班員の考えを共有することができ、知識を増やし、災害時の判断力を養います。

